

NGS EXPO 2022 参加報告

共通機器部門 共通利用機器管理班

森原なぎさ

1. はじめに（目的等）

次世代シーケンサー(NGS)は様々な分野において様々な目的で使われるようになっており、その発展はめざましく日々進歩している。これらの最先端の情報を広く簡便に入手、フォローし自身の業務に役立てるため本集会に参加した。

2. 期間・場所

期間：令和4年10月18日～10月19日

場所：大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)10階会議場とオンラインのハイブリッド形式

3. 参加者等

現地 2727名、オンライン 220名、計 492名

4. 研修内容

- ・招待講演
- ・一般講演
- ・協賛企業セッション
- ・ポスターセッション

5. まとめと感想

大阪大学微生物病研究所の NGS 共用運用体制についての発表もあり参考になった。NGS の台数とスタッフの数共に大規模なラボであり、普段対応に迷うような依頼の対処についても質問できた。またデータ依頼解析については独学なところも多いため、自分の解析手法を確認できたり、現在直面している課題の解決策が得られたことは良い収穫であった。特に複数の発表者がデータ解析のみを担当する場合でも実験開始前に打ち合わせすることを推奨していたことは、今後取り入れようと思っていたことだったので頷けた。また理化学研究所のラボで実験室をデジタルトランスフォーメーション化している例が興味深く、温度、湿度、CO2、ダストモニター、静電気などのログをとり、同時に実験中の手元を見守りカメラで記録することで失敗が起こった際に活用されていた。今回得た知識や情報をできるだけ多く業務に活用していきたい。